

第 26 回 土木施工管理 技術論文・技術報告 募集

(一社)全国土木施工管理技士会連合会では、技術論文・技術報告を募集します。
優秀な論文や報告に対しては、技術論文報告審査委員会において審査し、表彰いたします。

応 募 要 項

1. 応募要件

執筆者は土木施工管理技士〔有資格者〕で、個人または連名（共同執筆者は2名まで）とします。
執筆者が既に他団体等で公表した論文・報告（ほぼ同一内容も含む）は応募出来ませんが、社内報や所属技士会のみで公表されたものは応募できます。

2. 種類と内容

技術論文と技術報告の2種類があります。

対象とする工事は、できるだけ新しく施工されたもので、工事規模の大小・工種の制限はありません。

(1) 技術論文

建設現場における課題解決のために、新規性・有用性に優れた創意工夫や技術的改善等を行い、他の施工管理技士の参考になるようにまとめたものを対象とします。

(2) 技術報告

建設現場における課題解決のために、創意工夫や技術的改善等を行い、他の施工管理技士の参考となるようにまとめたものを対象とします。

3. 応 募

(1) 応募方法：当会ホームページにおいて、インターネットからご応募ください。

※推奨ブラウザ Microsoft Edge または Google Chrome

(2) 募集期間：2021年7月1日（木）から2021年11月30日（火）

(3) 応募数について

主執筆者、共同執筆者にかかわらず、一人1件の応募とします。

また論文と報告の重複応募はできません。

同じ会社の方からの応募は、論文・報告とも一社あたり各4件までとします。

(4) 応募料金

技士会会員は無料、非技士会員は2,000円（税込）（学習履歴登録手数料は含みません）

(5) 【重要】原稿について

a. 文字数・ページ数 ※最低文字数以上必須

技術論文…3,200文字以上～4,000文字（白黒印刷して鮮明に写る図（写真）・表を含む）

原稿雛型 A4 用紙 4 枚 ※3,200文字以上、原稿雛型の使用 必須

技術報告…1,600文字以上～2,000文字（白黒印刷して鮮明に映る図（写真）・表を含む）

原稿雛型 A4 用紙 2 枚 ※1,600文字以上、原稿雛型の使用 必須

※但しどちらも、図表の分量は各ページの半分以下とします。

b. 構成 原則として以下の①～④の構成にして下さい。

① はじめに（適用工種 工事概要を含む）

② 現場における課題・問題点（報告の場合は③と合わせても可）

③ 対応策・工夫・改善点（特に個人として実行したこと）と適用結果

④ おわりに（他の現場への適用条件、今後の留意点など）

c. 要旨

論文の要旨（技術の現状・現場の課題・工夫改善結果等の内容、100～200文字程度）を「d.」雛型に合わせて記述してください。要旨は、論文の原稿「a. ページ数」には含まれません。

d. 原稿様式

Word ※MS 明朝 10.5、2 段組み、22 文字×39 行（1 ページ目は 28 行）で作成してください。

必ず、当会ホームページから原稿雛型をダウンロードして、これを使用してください。

原稿の容量は 15 MB 以内とします。

(6) その他

論文・報告中の商品名の記載は排除しませんが、商品名の宣伝や誹謗の意図が明確なものは認められません。

図表及び本文を引用した場合は、当会への提出前に必ず出典元許可を事前に得て、発注者への確認もお願いします。

(7) 著作権について

①本著作財産権は、本著作者が論文・報告を応募した時点をもって、当会に譲渡されたものとします。

②著作者自らが著作物の全文、または一部を複製・翻案などの形で利用する場合、当会は原則として、その利用を妨げません。ただし、審査結果(4月上旬)が出るまでは、他団体等での公表は、ご遠慮ください。

4. 審査

(1) 応募された論文・報告は当会において査読し、内容が一定水準以上で応募要領を満たしているものを受理とします。受理の場合は、論文 15 ユニット（共同執筆者 3 ユニット）報告 10 ユニット（共同執筆者 2 ユニット）を付与します。ただし、CPDS（形態コード 205・206）に登録済みのものにはユニットの重複付与は致しません。（論文の差 5 ユニットも付与されません）なお、表彰された場合はユニット増分を付与します。

(2) 受理された論文・報告は当会の技術論文審査委員会において審査し、表彰します。

審査においては以下の項目に重点を置いて評価します。

- ① 建設現場の課題解決のための創意工夫、施工・施工管理等の技術・効率の向上
- ② 工夫の他の現場への適用のしやすさ・適用の広さ、次世代への技術伝承などの適用性
- ③ i-Construction 及びインフラ分野の DX を実践し、生産性向上や業務の改善に貢献
- ④ 工事規模の大小・工事種類にとらわれず、施工管理技士としての創意工夫

(3) 受理された論文・報告は、当会で論文報告集として発行するほか、都内で行う当会主催の技術発表会で発表していただくことがあります。また、受賞した論文・報告は会誌に掲載することもあります。

5. 表彰

審査結果は 2022 年 4 月以降ホームページに、また 2022 年 JCM レポート 5 月号に掲載します。

表彰の種類は次表のとおりで、受賞者には賞状・副賞及び表彰のユニットを付与いたします。

表彰の種類	技術論文		技術報告		備考
	表彰賞金	ユニット	表彰賞金	ユニット	
最優秀賞	7万円	30(6)	3万円	20(4)	最も技術的に優秀な論文及び報告
優秀賞	3万円	25(5)	1万円	15(3)	技術的に優秀な論文及び報告
i-Construction 賞	5万円	25(5)	—	—	i-Construction を実践し成果をあげた論文を選定 この賞は(一財)日本建設情報総合センターの協賛です
特別賞	1万円	20(4)	1万円	15(3)	特定の分野や他にない独自性などが高く評価された論文及び報告

(注) 受理ユニットは 2022 年 2 月、表彰のユニットは 2022 年 4 月に付与します。表彰欄のユニット数には受理ユニットが含まれます。() 内は共同執筆者分です。